

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月5日

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社
 コード番号 2812 URL <http://www.vskf.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

(氏名) 坂井 和男
 (氏名) 塩澤 泰

TEL 054-202-6044

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,092	—	316	—	350	—	210	—
20年3月期第1四半期	4,502	△2.6	164	△27.7	210	△23.8	107	△37.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	14.95	—
20年3月期第1四半期	7.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	21,443	—	16,642	77.6	—	—	1,184.35	—
20年3月期	20,660	—	16,615	80.4	—	—	1,182.45	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 16,642百万円 20年3月期 16,615百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	10.00	—	9.00	19.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	10.00	—	9.00	19.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	9,650	—	400	—	480	—	250	—	17.79
通期	19,500	4.5	1,040	20.6	1,150	17.0	640	23.0	45.54

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	14,056,198株	20年3月期	14,056,198株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	4,318株	20年3月期	4,237株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	14,051,908株	20年3月期第1四半期	14,052,245株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)におけるわが国経済は、米国発のサブプライムローン問題による世界的金融不安、原油高騰及びそれに起因する原材料高などの影響により景気後退懸念が高まって参りました。

食品業界におきましても、中国ギョーザ事件、そして次々発覚する偽装問題など、食の安全、安心に対する信頼が大きく崩れ、さらには原材料の高騰、資源の枯渇問題にまで広がり、かつてないほどの厳しい時代に入っております。

このような環境の中、当社グループでは「おいしさと健康」をテーマに、「新中期3ヵ年計画」の中間期として着実に成果を上げてまいりました。

当社の柱である調味料事業では新しい付加価値をつけた「L-1」シリーズの拡販、「低塩調味しお」の普及活動などを推進し成果も上がりつつあります。また、機能食品事業では「N-アセチルグルコサミン」の一層の市場拡大、新製品の開発、製造コストの削減などを行い順調に成果が上がっております。

特に、連結子会社では、前年度の厳しい状況から当年度は大幅なリストラを行い、収益的に改善傾向が見られ、連結決算収益に寄与いたしました。さらに当第1四半期より100%子会社であるUMIウェルネス株式会社を連結会社に加えることといたしました。

以上により、当第1四半期は原材料費、燃料費等が上昇する中で、売上高は50億92百万円、営業利益3億16百万円、経常利益3億50百万円、四半期純利益2億10百万円となりました。

内容的には、粉体調味料の順調な売上増加、機能食品であるレトルト部門の採算性向上、連結子会社の収益性向上など前年同期比大幅な収益改善が見られました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末における資産合計は、前連結会計年度末比7億83百万円増加し、214億43百万円となりました。これは現金及び預金が2億96百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が6億58百万円、原材料が2億72百万円増加したことが主な要因であります。有形固定資産は69百万円、投資その他の資産は80百万円増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末比7億56百万円増加し、48億1百万円となりました。主な要因は流動負債のうち支払手形及び買掛金の5億71百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末比26百万円増加し、166億42百万円となりました。これは為替換算調整勘定が34百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が78百万円増加したことによるものです。

自己資本比率は前年同期76.4%に対し1.2ポイント増加し、77.6%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、23億3百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における営業活動の結果、得られた資金は51百万円となりました。

この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益の3億50百万円、減価償却費1億40百万円、売上債権の増加額6億17百万円、たな卸資産の増加額2億54百万円、仕入債務の増加額5億24百万円、法人税等の支払額1億99百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における投資活動の結果、使用した資金は、2億60百万円となりました。

この内訳の主なものは、有形固定資産の取得に要した支出2億75百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間における財務活動の結果、使用した資金は96百万円となりました。

この内訳の主なものは、配当金の支払い額98百万円です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績につきましては、平成20年5月15日付「平成20年3月期 決算短信」における公表値に対し、概ね計画以上に推移しております。

しかし、昨今の原油高、原料高などで国内経済の先行き不透明感から引き続き厳しい営業環境が続くと予想されます。当社グループでは継続して新製品の上市、国内シェア拡大、製造コスト削減等の施策を実施し、営業成果実現に全力を上げる方針であります。

以上により、現状では第2四半期累計期間及び通期の業績予想の変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）により算出しております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ20,721千円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,337,655	3,634,500
受取手形及び売掛金	4,881,409	4,222,668
有価証券	101,363	101,195
商品	164,236	131,672
製品	1,257,304	1,274,248
原材料	1,269,205	997,135
貯蔵品	36,389	34,985
繰延税金資産	93,030	92,621
その他	112,972	121,690
貸倒引当金	△2,900	△2,100
流動資産合計	11,250,668	10,608,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,611,010	2,677,971
機械装置及び運搬具	1,393,467	1,435,700
土地	2,381,036	2,381,036
建設仮勘定	271,803	93,526
その他	96,372	95,744
有形固定資産合計	6,753,690	6,683,979
無形固定資産	70,561	77,534
投資その他の資産		
投資有価証券	2,782,013	2,699,363
繰延税金資産	231,826	244,988
その他	357,321	347,109
貸倒引当金	△15,388	△15,856
投資その他の資産合計	3,355,772	3,275,605
固定資産合計	10,180,025	10,037,119
繰延資産	13,177	14,946
資産合計	21,443,871	20,660,684

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,393,275	1,821,813
短期借入金	310,383	241,344
1年内返済予定の長期借入金	339,687	343,686
未払法人税等	142,946	209,281
未払消費税等	43,415	57,458
賞与引当金	233,041	122,540
役員賞与引当金	9,135	—
その他	439,072	389,950
流動負債合計	3,910,957	3,186,075
固定負債		
長期借入金	424,000	445,500
繰延税金負債	40,000	—
退職給付引当金	279,980	265,718
長期未払金	138,056	139,136
その他	8,563	8,563
固定負債合計	890,600	858,918
負債合計	4,801,557	4,044,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,146	3,414,146
利益剰余金	9,474,362	9,492,081
自己株式	△4,895	△4,806
株主資本合計	16,501,256	16,519,065
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	115,608	36,773
為替換算調整勘定	25,448	59,850
評価・換算差額等合計	141,056	96,624
純資産合計	16,642,313	16,615,689
負債純資産合計	21,443,871	20,660,684

(2) 四半期連結損益計算書
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	5,092,386
売上原価	4,013,170
売上総利益	1,079,215
販売費及び一般管理費	762,949
営業利益	316,266
営業外収益	
受取利息	4,114
受取配当金	29,479
受取賃貸料	2,839
その他	8,899
営業外収益合計	45,333
営業外費用	
支払利息	5,259
その他	6,018
営業外費用合計	11,277
経常利益	350,321
特別損失	
固定資産除却損	308
特別損失合計	308
税金等調整前四半期純利益	350,013
法人税等	139,940
四半期純利益	210,073

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	350,013
減価償却費	140,700
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,708
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	332
賞与引当金の増減額 (△は減少)	110,501
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,135
受取利息及び受取配当金	△33,594
支払利息	5,259
有形固定資産除却損	308
売上債権の増減額 (△は増加)	△617,805
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△254,626
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	4,546
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△8,095
仕入債務の増減額 (△は減少)	524,469
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18,496
長期未払金の増減額 (△は減少)	△1,080
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,372
その他	1,106
小計	221,755
利息及び配当金の受取額	33,608
利息の支払額	△4,208
法人税等の支払額	△199,974
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,179
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△795,245
定期預金の払戻による収入	812,378
有形固定資産の取得による支出	△275,247
投資有価証券の取得による支出	△753
その他	△1,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	△260,534
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	28,092
長期借入金の返済による支出	△25,499
自己株式の取得による支出	△89
配当金の支払額	△98,767
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	△675
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△306,292
現金及び現金同等物の期首残高	2,583,273
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	26,580
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,303,561

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

	調味料事業 (千円)	機能食品事業 (千円)	水産物事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,580,903	1,794,157	479,109	238,215	5,092,386	—	5,092,386
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	26,609	—	2,720	6,148	35,478	(35,478)	—
計	2,607,512	1,794,157	481,830	244,364	5,127,865	(35,478)	5,092,386
営業利益	259,878	161,232	2,035	61,907	485,054	(168,787)	316,266

(注) 1. 事業区分の方法

当連結グループの事業区分の方法は、製品・商品の種類、性質等の類似性を考慮のうえ、食品メーカーに対する業務用の各種調味料の部門、キッチン・キトサンなど海洋機能性素材、またそれらを原料とした製品群及び、医療栄養食を主体とする機能食品部門、冷凍マグロ、カツオ加工、倉庫業を中心とする水産物事業部門、業務用・家庭用のワサビ類を中心とする香辛料や個包装食品などのその他の部門とに区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
調味料事業	各種エキス、各種オイル、各種スープ、各種粉末調味料、風味調味料、各種具・惣菜
機能食品事業	各種海洋機能性素材、各種オリゴ糖類、キッチン・キトサン類、医療栄養食
水産物事業	冷凍マグロ、カツオ加工、魚問屋、倉庫業
その他の事業	各種ワサビ類、各種辛子類、各種香辛料、各種個包装食品

3. 営業費用の取り扱いの変更

事業の種類別セグメント情報における営業費用について、セグメント別の営業損益をより適正に表示するため、その発生の態様と配賦基準を見直しました。

この変更により、変更前の方法によった場合と比較して、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間の「調味料事業」及び「その他の事業」の営業利益は、それぞれ73,808千円及び66,226千円増加し、「機能食品事業」、「水産物事業」及び消去又は全社欄の営業利益は、それぞれ54,271千円、1,167千円及び84,595千円減少しております。

b. 所在地別セグメント情報

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,083,210	9,175	5,092,386	—	5,092,386
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	89,100	89,100	(89,100)	—
計	5,083,210	98,276	5,181,486	(89,100)	5,092,386
営業利益	484,861	3,992	488,854	(172,587)	316,266

(注) 従来、全セグメント売上高の合計、営業損益及び全セグメントの資産の合計額における「日本」の割合が90%を超えていたため、所在地別セグメント情報の記載を省略しておりましたが、「日本」の資産の割合が90%以下となったため、当連結会計年度から所在地別のセグメント情報を記載しております。

c. 海外売上高

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期末)	
	金額 (千円)	構成比 (%)
I 売上高	4,502,046	100.0
II 売上原価	3,701,223	82.2
売上総利益	800,822	17.8
III 販売費及び一般管理費	635,905	14.1
営業利益	164,916	3.7
IV 営業外収益	57,833	1.3
V 営業外費用	12,223	0.3
経常利益	210,526	4.7
VI 特別利益	42	0.0
VII 特別損失	1,892	0.1
税金等調整前第1四半期 (当期) 純利益	208,676	4.6
税金費用	101,105	2.2
第1四半期 (当期) 純利益	107,571	2.4

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
区分	金額(千円)
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純利益	208,676
減価償却費	163,306
退職給付引当金の増加額	7,872
役員退職慰労引当金の減少額	△78,331
賞与引当金の増加額	115,830
受取利息及び受取配当金	△38,373
支払利息	8,053
為替差益	△539
売上債権の減少額	17,945
たな卸資産の減少額	138,378
仕入債務の減少額	△44,460
その他	△52,393
小計	445,964
利息及び配当金の受取額	38,392
利息の支払額	△7,193
法人税等の支払額	△308,373
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,789
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△367,978
定期預金の払戻による収入	390,681
有価証券の取得による支出	△249,565
有価証券の売却による収入	249,803
有形固定資産の取得による支出	△60,543
投資有価証券の取得による支出	△747
その他投資の増加額	82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,268
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増加額	△26,760
長期借入金の返済による支出	△64,685
自己株式の売却による収入	△112
配当金の支払額	△97,383
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188,941
4. 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,351
5. 現金及び現金同等物の減少額	△57,068
6. 現金及び現金同等物の期首残高	1,544,115
7. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	61,798
8. 現金及び現金同等物の期末残高	1,548,845

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)

	調味料事業 (千円)	機能食品事業 (千円)	水産物事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	2,281,797	1,457,708	475,147	300,492	4,515,145	△13,099	4,502,046
営業費用	2,032,355	1,427,278	487,238	311,460	4,258,334	78,795	4,337,129
営業利益	249,441	30,430	△12,091	△10,968	256,811	△91,894	164,916

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期における本邦の売上高および資産の金額は、全セグメントの売上高の合計および全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合が、いずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前年同四半期における海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。